

4 事業の評価

評価基準					
[妥当性]事業のニーズはあるか	○	増加している		横ばい	減少している
[妥当性]事業手段は妥当か	○	現行の手段でよい		一部見直しが必要	見直しが必要
[妥当性]官民の役割は妥当か		市が行うべき	○	他の主体との協働も可能	市が行う必要性は薄れている
[妥当性]緊急的に取り組む必要があるか		急いで取り組む	○	中長期的に取り組む	緊急性は薄い
[有効性]更に効果が期待できるか	○	できる		あまりできない	できない
[有効性]成果目標はどの程度達成しているか	○	達成している (90%以上)		おおむね達成 (70~90%未満)	達成していない (70%未満)
[有効性]上位施策への貢献度		重要かつ高い貢献度がある	○	一定の貢献度がある	貢献度は低い
[効率性]事業費を抑制できるか	○	できない		制約はあるが可能性はある	できる
[効率性]受益者負担の見直し		適正	○	負担は求められない	見直しが必要

5 今後の方向性 (担当課評価)

事業内容の方向性	充実				
	現状維持		○		
	縮小				
	廃止				
		ゼロ	縮小	現状維持	拡大
コスト投入の方向性					

担当課評価の根拠	<p>廃線の危機から運行継続が図られた和歌山電鐵貴志川線は、本市と隣接する紀の川市を結ぶ広域的な鉄道路線であり、また山東方面への唯一の公共交通であるため、地域住民や観光客等が利用する限られた移動手段として、維持存続させる必要がある。</p>
見直し・改善内容	<p>平成28年度から令和7年度までの10年間は、和歌山県、紀の川市とともに貴志川線の設備整備に対する支援を行っている。今後、令和8年度以降の貴志川線に対する支援のあり方や方向性については、法定協議会や和歌山県・紀の川市との協議等において、検討を行っていく。</p>